

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（京都工芸繊維大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

令和2年度からオンライン授業を実施しており、同期型授業と、動画や音声コンテンツ配信等による非同期型授業とを組み合わせ実施しました。ほぼ全科目でMoodleを中心とした各種支援ツールを駆使し、学生との間で多様なフィードバックを行っています。オンライン授業等を補完するため、全授業をオンラインで実施した令和2年度の前学期においては夏季に登校スクーリングを実施しました。

授業実施方法や資料配布方法等を調査してその集計結果を教員にフィードバックし、オンライン試験に関する全般的・技術的な注意事項を試験前に教員に周知することにより、教育の質保証に努めています。

以上の取組により、令和2年度前学期の授業評価アンケートにおいては、「全体としてオンライン授業が良かった」とする意見が約7割を占めており、肯定的に評価されています。

令和3年度においては、十分な学修機会を確保するために、十分な感染対策を実施した上で、原則、対面での授業とすることにしました。しかし、その後、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことに伴い、その対応として、オンライン授業の拡大やハイフレックス授業（対面授業とオンラインの同時配信）の導入等を実施し、授業の質に十分留意しながら、感染拡大の防止、感染リスクに不安がある学生に配慮した対応を行っています。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

オンライン授業等を補完するため、全授業をオンラインで実施した令和2年度の前学期においては夏季に登校スクーリングを実施しました。

令和3年度前（春）学期受講登録期間に、アクセシビリティ・コミュニケーション支援センターがコロナ禍における修学・学生生活の状況を把握するための学生調査を実施しました。結果は各課程・専攻や関係各課にフィードバックし、修学環境の改善や学生支援に役立てています。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により家計急変した学生に対する入学金・授業料免除、相談受付等を行っています。また、令和2年度には、オンライン授業を受けるためのパソコン、通信機器を購入する学生に対する無利子の奨学金の貸与を行いました。